

2019年1月21日

広島大学情報メディア教育研究センター
ISMS 基本方針

広島大学（以下、「本学」という。）は12学部、11研究科、1専攻科を有し、約2万人の構成員により構成される中国地域における中心的な総合大学である。広島大学情報メディア教育研究センター（以下「センター」という。）は、本学の全構成員が利用する教育研究用の情報サービスを管理運用する組織であり、本学が定める情報セキュリティポリシーに基づく全学的なセキュリティレベルの維持を期待されている。センターは、安定かつ信頼できる情報サービスを提供するため、財務・総務室情報部と協力し、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS : Information Security Management System）を構築する。最高情報セキュリティ責任者は、下記項目の実施に責任を持つ。

1. 情報セキュリティの主要3要素である、機密性・完全性・可用性の確保に努める。
特に、本学構成員に提供している情報サービスの可用性、また、センターで管理している個人情報及び認証情報の機密性をより確実なものとする。
2. 広島大学クラウドサービス利用ガイドライン・チェックリストを活用し、クラウドサービスの利用普及に努める。
3. PDCA サイクルにより、セキュリティレベルの維持及び改善を継続的に行う。
4. センター及び財務・総務室情報部職員（以下「職員」という。）は、個人情報保護法等の各種法令及び学内規則を順守し、情報セキュリティ活動における行動規範とする。
5. 職員は一致協力して ISMS を推進し、順次その対象範囲を拡大する。
6. 本学及び地域社会・国際社会への情報セキュリティの普及及びレベルの向上の一助となるため、職員は ISMS 活動に積極的に関与する。

2019年 1月 21日

相原 玲二

(最高情報セキュリティ責任者)